

## 令和3年度 指定管理者総合モニタリング評価表

施設名称	塩尻市ふれあいセンター広丘		
所在地	塩尻市大字広丘堅石2150番地1		
指定管理者名	社会福祉法人塩尻市社会福祉協議会		
指定期間	令和2年4月1日 ～ 令和7年3月31日 (5年間のうち2年目)		
募集方法	公募	施設担当課	健康福祉事業部 福祉課

### 1 業務実績（指定管理者）

当初計画	実績
<b>【コミュニティーソーシャルワーカーの設置】</b>	<b>【コミュニティーソーシャルワーカーの設置】</b>
1 総合相談事業 ・相談件数 570件	1 総合相談事業 ・相談件数 福祉相談 306件 ボランティア相談 17件 有償福祉サービス 194件 福祉学習 18件 地域支援 83件 介護相談 5件 ・相談形式 電話 276件 訪問 138件 来所 172件 会議 43件  (来所件数に健康相談は含まない)
<b>【北部圏域の地域福祉活動の推進】</b>	<b>【北部圏域の地域福祉活動の推進】</b>
1 支え合い講座・出前講座 ・地域いきいきボランティア活動講座 3回 60人 ・北部地区ボランティアお役立ち講座 3回 60人  ・地域づくり啓発講座 3回	1 支え合い講座・出前講座 ・有償サービスサポーター・地域住民向け研修 2回 17人 ・有償サービスサポーター・地域住民向け研修 1回 23人 ・障がい理解啓発講座 1回 21人 ・しおじりつながるプロジェクト 4回 延32団体
2 ふれあいセンター広丘まつり 1回	2 ふれあいセンター広丘まつり ふれあいの集いin広丘 1回 70人
3 社協支部分会や関係団体等との連携	3 社協支部分会や関係団体等との連携 分会研修会 1回 36人 地域ケア会議等参加 3地区 5回
4 福祉学習の支援 ・学校での福祉学習への協力 ・企業を対象とした福祉講座の開催 1回 20人	4 福祉学習の支援 ・広陵中学校・丘中学校 12回 658人 ・認知症の理解(アルピコ保険リース株式会社) 1回 14人
5 災害対策事業	5 災害対策事業 災害時支え合い講座 1回 23人
<b>【介護予防・認知症予防の推進】</b>	<b>【介護予防・認知症予防の推進】</b>
1 介護予防・認知症予防講座 (1) 介護予防・認知症予防講演会の開催 4回 50人/回  (2) 機能訓練室の運営 ・健康運動教室 全4期(10人×3教室×4期) 延1,400人	1 介護予防・認知症予防講座 (1) 介護予防・認知症予防講演会の開催 介護予防講座 2回 53人 認知症予防講座 2回 41人 (2) 機能訓練室の運営 健康運動教室 全4期(10人×3教室×4期) 延参加人数 1,049人

2 認知症サポートセンター ・ 認知症介護相談 24回 ・ オレンジカフェ開催 24回 ・ 認知症サポーター養成講座 15回 ・ 認知症地域支援推進員会議 6回	2 認知症サポートセンター ・ 認知症介護相談 24回 16件 ・ オレンジカフェ開催 22回 144人 ・ 認知症サポーター養成講座 11回 77人 ・ 認知症地域支援推進員会議 6回 ・ アルツハイマー月間に啓発活動への取り組み 1回
<b>【地域福祉ネットワークづくり】</b>	<b>【地域福祉ネットワークづくり】</b>
1 北部圏域福祉ネットワーク構築	1 北部圏域福祉ネットワーク構築 地域ケア会議等参加 3地区 5回 民児協地区会への参加 4地区 14回
2 有償サービス事業の実施 ・ 有償福祉サービスの拡充  ・ 活動者の育成 3回	2 有償サービス事業の実施 ・ 有償福祉サービスの拡充 (北部圏域) サービス提供回数 94回 活動時間 164時間 新規相談 19件 利用者新規登録 14件 サポーター新規登録 3人 (全市) 利用者登録人数 76人 サポーター登録人数 57人 ・ 活動者の育成 養成講座 2回 16人 サポーター事業説明会・連絡会 1回 12人
<b>【世代間交流事業】</b>	<b>【世代間交流事業】</b>
1 ふれあいセンター広丘地区交流事業	1 ふれあいセンター広丘地区交流事業 ふれあいの集いin広丘 1回 70人 ボランティア登録団体活動支援(マルシェ) 1回
2 図書コーナーの利用	2 図書コーナーの利用 本の貸し出しとともに館内での図書の利用にて交流の場を作る 貸出79冊
<b>【利用者の福祉の増進】</b>	<b>【利用者の福祉の増進】</b>
1 相談支援 ・ 健康相談 3,300件 ・ 福祉・介護相談 570件	1 相談支援 ・ 健康相談 4,652件 ・ 福祉・介護相談 623件
2 北部圏域の講座の開催 高齢者の生きがいと健康づくり講座 (1) 生きがい講座(地区講座) 72回(6地区各12回)  (2) 介護予防講座 5講座 各12回	2 北部圏域の講座の開催 高齢者の生きがいと健康づくり講座 (1) 生きがい講座(地区講座) 広丘・野村・片丘・郷原堅石・原新田・吉田地区 64回 659人  (2) 介護予防講座 パッチワーク講座 12回 192人 3B体操講座 11回 127人 銭太鼓講座 10回 225人 音楽で元気講座 11回 168人 クラフトバンド手芸講座 12回 165人

3 団体利用の会場提供		3 団体利用の会場提供 地区、社協支部分会、関係福祉団体、 ボランティア団体、関係福祉団体等 433団体 4,432人
4 バス運行業務		4 バス運行業務 講座102回 団体14回 116件
5 利用者からの意見聴取の実施		5 利用者からの意見聴取の実施 利用者アンケート（一般利用者、講座受講者） 年1回 社会福祉協議会苦情解決に関する委員会 年2回
6 入浴無料の日 毎月26日 12回		6 入浴無料の日 ※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止
<b>【喫茶・食堂の運営】</b>		<b>【喫茶・食堂の運営】</b>
(1) 憩いの場・食事の提供 営業時間11時30分～13時30分 休館日を除く火曜日～日曜日		(1) 憩いの場・食事の提供 営業時間11時30分～13時30分 休館日を除く火曜日～日曜日 販売食数 5,565食
(2) 障害者就労支援事業所利用者の訓練の場の提供		(2) 障害者就労支援事業所利用者の訓練の場の提供 ホール業務を就労支援事業所みどりが丘に委託
(3) 障害者就労支援事業所製品販売協力		(3) 障害者就労支援事業所製品販売協力 4事業所の製品を常設
<b>【施設維持管理】</b>		<b>【施設維持管理】</b>
1 管理保守点検等業務 ・ 建築物保守管理業務 1回/週  受電設備点検業務 1回/月 消防用設備点検業務 2回（4,12月） 1回（12月） エアコン保守点検業務 2回（6,3月） 自動ドア保守点検業務 3回（7,11,3月） ボイラー保守点検業務 2回（10,3月） 自主点検管理 1回/週 ろ過装置保守点検業務 2回（7,3月） 自主点検管理 1回/週 自家用電気工作物保安管理業務 2回（4,10月） ・ 備品等保守管理業務  ・ 清掃業務 2回/月  6日/週 ・ 植栽等維持管理業務 随時  ・ 環境衛生管理業務 1回（3月） ヘアキャッチャー清掃（職員） 毎日 浴槽水質検査（専門業者） 2回（8,2月） 浴槽水質（残留塩素）測定 4回/日 ネズミ、害虫駆除 2回（7,1月）	1 管理保守点検等業務 ・ 建築物保守管理業務 職員による目視での点検 1回/週 受電設備点検業務 1回/月 消防設備点検 2回（5,12月） 防火対象物点検 1回（12月） エアコン保守点検 2回（9,3月） 自動ドア保守点検 3回（7,11,3月） ボイラー保守点検 2回（8,3月） 自主点検管理 1回/週 ろ過装置保守点検 2回（9,3月） 自主点検管理 1回/週 自家用電気工作物保安管理 2回（5,12月） ・ 備品等保守管理業務 マイクロバス定期点検 車検、法定点検 ・ 清掃業務 専門業者による清掃 2回/月 日常清掃 6日/週 ・ 植栽等維持管理業務 庭清掃、剪定、下草刈り（職員） 随時 ・ 循環用配管清掃 1回（3月） ヘアキャッチャー清掃（職員） 毎日 浴槽水質検査（専門業者） 2回（8,2月） 浴槽水質（残留塩素）測定 4回/日 ネズミ、害虫駆除 2回（7,1月） ・ 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため1日4回 程度館内び備品等の定期的な消毒を実施。また時間 ごとの換気、入館時の検温、手指消毒等への協力を 呼びかけ実施。	

2 修繕業務		2 修繕業務 適宜市担当課に連絡、実施	
3 警備業務		3 警備業務 警備会社に委託	
4 除雪業務		4 除雪業務 職員により実施	
5 集金業務		5 集金業務 入浴料は券売機にて精算	
<b>【防犯、防災、緊急時の対応】</b>		<b>【防犯、防災、緊急時の対応】</b>	
・ 消防計画により訓練実施	2回（10,3月）	・ 消防計画により訓練実施	2回（11,2月）
<b>【職員研修】</b>		<b>【職員研修】</b>	
		・ 社会福祉協議会職員研修	
		決算評価分析研修	1人
		交通安全研修	14人
		新人職員研修	1人
		新人職員指導員研修	1人
		発展・強化推進研修	3人
		・ 職場外研修	
		地域づくり講演会	1人
		地域づくり人材養成研修	1人
		チームオレンジコーディネーター研修	1人
		認知症地域支援推進員研修	1人
		・ 強化研修	
		元気作り広場視察	3人
		食品衛生責任者実務講習会	1人

## 2 施設の利用状況(指定管理者)

利用区分等	利用目標	今年度実績 (ア)	前年度実績 (イ)	対前年 (ア) / (イ)
開館日数	301日	301日	273日	110.3%
施設利用者数(団体)	31,000人	7,288人	6,492人	112.3%
施設利用者数(個人)		25,910人	22,144人	117.0%
入浴者数	18,360人	21,717人	18,381人	118.1%
入浴券売上	4,865,000円	5,636,000円	4,773,600円	118.1%
健康相談	3,300人	4,652人	2,762人	168.4%
福祉相談	570人	623人	384人	162.2%

※福祉相談について令和3年度より相談区分、形式が分かるよう集計方法を変更した。

## 3 利用目標の達成状況に対する評価・分析(指定管理者、施設担当課)

指定管理者の 評価・分析	<ul style="list-style-type: none"> <li>・昨年に引き続き新型コロナウイルス感染症拡大予防対策を行い、感染者を出すことなく運営することができ、年間総利用者数は前年度比115%、利用目標人数に対し107%の増加となった。</li> <li>・コミュニティソーシャルワーカーを中心に福祉相談件数を増やし、個別ケースへの支援を中心に関係機関等と連携して地域福祉推進への取り組みを行った。また市民活動団体のつながりづくりを目的とした取り組みを実施し、活動支援を始めることができた。</li> <li>・昨年度は交流事業、講座について中止や定員減にて開催としたが、今年度は内容の工夫、会場の拡大等できる形にて実施した(集い、健康運動教室)。また講座中止期間中は電話等にて講座参加者の状況確認と孤立予防に努めた。</li> </ul>
施設担当の 評価・分析	<ul style="list-style-type: none"> <li>・相談件数が増加する中、コミュニティソーシャルワーカーへの負担も大きくなっているため、3つのふれあいセンターで協力し、地域からの要望に応えられるよう引き続き取り組んでほしい。</li> <li>・新型コロナウイルスの影響により会議や講座の開催方法も限られる中、整備したWi-Fi環境を活用した方法も検討していただきたい。</li> </ul>

#### 4 収支状況(指定管理者)

(単位：円)

	項目	当初計画	実績 (ア)	前年度実績 (イ)	対前年 (ア) / (イ)
収 入	・ 指定管理料収入	39,570,000	39,570,000	39,570,000	100.0%
	・ 参加費収入	50,000	0	47,000	0.0%
	・ 利用料収入	5,636,000	5,636,000	4,776,900	118.0%
	・ 雑収入	212,000	212,295	163,902	129.5%
	・ 拠点区分間繰入金収入	0	0	0	-
	収入計 (A)	45,468,000	45,418,295	44,557,802	101.9%
支 出	・ 人件費	24,351,000	23,002,632	22,736,590	101.2%
	・ 保健衛生費	176,000	175,407	126,748	138.4%
	・ 教養娯楽費	68,000	27,600	58,232	47.4%
	・ 水道光熱費	5,558,000	5,556,896	4,608,678	120.6%
	・ 燃料費	3,602,000	3,554,100	3,216,400	110.5%
	・ 消耗器具備品費	716,000	536,245	437,569	122.6%
	・ 保険料	369,000	364,395	405,060	90.0%
	・ 賃借料	234,000	233,640	233,640	100.0%
	・ 車輛費	166,000	98,979	75,096	131.8%
	・ 職員被服費	22,000	22,000	19,200	114.6%
	・ 諸謝金	1,523,000	1,339,400	1,075,300	124.6%
	・ 旅費交通費	10,000	0	0	-
	・ 研修研究費	53,000	4,500	0	皆増
	・ 事務消耗品費	173,000	99,799	64,900	153.8%
	・ 印刷製本費	7,000	0	62,175	皆減
	・ 修繕費	668,000	666,820	517,880	128.8%
	・ 通信運搬費	358,000	357,281	317,463	112.5%
	・ 会議費	31,000	2,211	11,224	19.7%
	・ 業務委託費	2,939,000	2,937,940	2,805,920	104.7%
	・ 手数料	39,000	36,672	36,520	100.4%
	・ 保険料 (火災)	27,000	9,896	1,150	860.5%
	・ 賃借料	259,000	186,988	224,816	83.2%
	・ 土地・建物賃借料	149,000	148,992	147,856	100.8%
	・ 租税公課	3,000	1,800	1,800	100.0%
	・ 保守料	1,567,000	1,566,400	1,566,400	100.0%
	・ 諸会費	16,000	16,000	16,000	100.0%
	・ 雑支出 (退職年金事務費等)	40,000	33,300	40,269	82.7%
	・ 固定資産取得支出	0	0	156,750	皆減
	・ 退職手当、年金共済掛け金	866,000	865,707	1,032,237	83.9%
	支出計 (B)	43,990,000	41,845,600	39,995,873	104.6%
	収支 (A) - (B)	1,478,000	3,572,695	4,561,929	-
	・ 事務諸経費		3,572,695	4,561,929	78.3%

## 5 財務状況を示す指標（指定管理者）

指 標	当年度	前年度
自己資本比率（資本/資産×100）	84.6%	84.7%
負債比率（（流動負債+固定負債）/資本×100）	18.2%	18.0%
固定比率（固定資産/資本×100）	95.3%	93.9%
流動比率（流動資産/流動負債×100）	506.4%	541.8%
総資産経常比率（経常利益/総資産×100）	1.6%	2.2%

## 6 職員の配置状況（指定管理者）

当初配置計画	配置実績
所長 1名（常勤） コミュニティーソーシャルワーカー 1名（常勤） 支援員（常勤） 看護師 運転手 受付業務員 調理員 認知症地域支援推進員 防火管理者 安全運転管理者 衛生推進員 食品衛生管理者 （いずれかの職種が兼務）	所長 1名（常勤） コミュニティーソーシャルワーカー 1名（常勤） 支援員 4名（常勤1、非常勤3） 看護師 5名 運転手 3名 受付業務員 5名 調理員 4名 認知症地域支援推進員 1名 防火管理者 1名 安全運転管理者 1名 衛生推進員 1名 食品衛生管理者 1名 （いずれかの職種が兼務）

### ふれあいセンター広丘

所 長

指導員（CSW）	1名
支援員	4名
受付業務員	5名
看護師	5名
運転業務員	3名
調理員	4名

## 7 自主事業の状況（指定管理者）

当初計画	実 績
ふれあいセンター広丘まつり	ふれあいの集いin広丘（10月） 70人
アンケート調査 1回/年	アンケート調査 講座参加者 各1回 団体、個人利用者 各1回
利用者懇談会 1回/年	利用者懇談会 1回
苦情解決に関する委員会 2回/年	苦情解決に関する委員会 2回
すみれ食堂 就労支援事業所生産品等販売	市内外の就労支援事業所の製品販売を常設にした。 また、地場産野菜の積極的な利用と販売を実施し収益増を図った。

8 評価（指定管理者、施設担当課）

評価点は5段階としており、仕様書・事業計画等に対する達成度から判断します。

例えば、計画どおりの達成度であれば評価点は「3」となります。

評価項目の性質で、付けることができる評価点が制限されている項目があります。

評価点	達成度
5	: 120 % 以上
4	: 101 ~ 119 %
3	: 81 ~ 100 %
2	: 61 ~ 80 %
1	: 0 ~ 60 %

(1) 実施体制に関する評価

評価項目	No.	評価基準	評価点									
			指定管理者					施設担当課				
施設運営状況	1	協定書等に従い、開館日や開館時間等を遵守しているか	1	-	③	-	-	1	-	③	-	-
	2	施設の目的が十分機能しているか	1	2	③	4	5	1	2	③	4	5
	3	施設の利用者数や稼働率は適正か	1	2	3	④	5	1	2	3	④	5
危機管理体制	4	避難経路が適切に確保されている等、利用者の安全が確保されているか	1	2	3	④	5	1	2	③	4	5
	5	危機管理に関するマニュアル等が整備され定期的に訓練等を行っているか	1	2	③	4	5	1	2	③	4	5
	6	事故・災害等の緊急時の連絡体制は確立されているか	1	2	③	-	-	1	2	③	-	-
職員体制	7	仕様書等に従った人員(人数、有資格者)を配置しているか	1	-	③	-	-	1	-	③	-	-
	8	スタッフのシフトは適正であるか(労働基準法を遵守しているか)	1	2	③	4	5	1	2	③	4	5
	9	事業計画書に則した教育・研修を実施したか	1	2	③	4	5	1	2	③	4	5
記録・情報管理体制	10	業務日誌等を適切に作成・保管しているか	1	2	③	-	-	1	2	③	-	-
	11	協定書等で定められた事業計画書・報告書等を提出しているか	1	-	③	-	-	1	-	③	-	-
	12	情報公開に関する規定が整備されているか	1	-	③	-	-	1	-	③	-	-
	13	協定書等に従い、情報を適切に管理、公表しているか	1	-	③	-	-	1	-	③	-	-
	14	個人情報保護に関する規定が整備されているか	1	-	③	-	-	1	-	③	-	-
	15	個人情報等の管理は適切か	1	2	③	-	-	1	2	③	-	-
	16	情報漏えいを防止する仕組みや対応策が講じられているか	1	2	③	-	-	1	2	③	-	-
(1) 評価点合計 (16項目)			50					49				

(2) 収支等の評価

評価項目	No.	評価基準	評価点									
			指定管理者					施設担当課				
経理状況	17	指定管理に関する経費と団体の経費を区別して、適正に管理しているか	1	2	③	-	-	1	2	③	-	-
	18	専用の口座、帳簿等を備え、適切に経理処理を行っているか	1	2	③	-	-	1	2	③	-	-
	19	収支計画書に則し、適正に予算を執行しているか	1	2	③	-	-	1	2	③	-	-
	20	利用料収入などの現金管理等が適切に実施されているか	1	-	③	-	-	1	-	③	-	-
収支状況	21	事業収支は妥当か	1	2	③	4	5	1	2	③	4	5
	22	財務状況を示す指標の異常値、大幅な変動がないか	1	2	③	4	5	1	2	③	4	5
	23	計画どおりに経費節減の取り組みを行い、その効果があったか	1	2	③	4	5	1	2	③	4	5
	24	計画以外に経費節減に向けた取り組みを行い、その効果があったか	1	2	③	4	5	1	2	③	4	5
(2) 評価点合計 (8項目)			24					24				

(3) サービス等の内容や水準に関する評価

評価項目	No.	評価基準	評価点									
			指定管理者					施設担当課				
利用者へのサービスの状況	25	施設の予約や利用等が、公平かつ適切に実施されているか	1	2	③	4	5	1	2	③	4	5
	26	言葉づかい、態度、服装等の接遇は適切か	1	2	③	4	5	1	2	③	4	5
	27	利用者アンケートを実施し、その結果は妥当か	1	2	③	-	-	1	2	③	-	-
	28	利用者からの意見や要望等について、可能なものは反映させているか	1	2	3	④	5	1	2	③	4	5
	29	苦情や要望等に対して迅速かつ適切に対応しているか	1	2	③	4	5	1	2	③	4	5
	30	施設のホームページは効果的に運用されているか	1	2	③	4	5	1	2	③	4	5
	31	利用方法をわかりやすく説明できる仕組みができていますか	1	2	③	4	5	1	2	③	4	5
事業の実施状況	32	事業計画書に則し、指定管理事業を実施しているか	1	2	③	4	5	1	2	③	4	5
	33	施設の目的に沿って、自主事業を実施しているか	1	2	3	④	5	1	2	3	④	5
	34	各事業への参加や施設利用促進に向けた取り組みを積極的に行っているか	1	2	③	4	5	1	2	③	4	5
維持管理状況	35	仕様書等に従い、清掃、警備、衛生の点検・管理を適切に行っているか	1	2	3	④	5	1	2	③	4	5
	36	施設や設備の点検・管理を適切に行い、履歴を適切に整理・保管しているか	1	2	③	4	5	1	2	③	4	5
	37	必要な修繕を適切に行い、市に報告しているか	1	2	③	-	-	1	2	③	-	-
	38	市と指定管理者の備品が明確に区別されており、台帳により適切に管理されているか	1	2	③	-	-	1	2	③	-	-
	39	外部委託内容は事前に市の承認を受けており、委託先に協定書等を遵守させているか	1	-	③	-	-	1	-	③	-	-
	40	省エネルギー、省資源等環境への配慮がされているか	1	2	③	4	5	1	2	③	4	5
	(3) 評価点合計 (16項目)			51					49			

※No.39は外部委託がある場合のみ評価する。

(評価点の総計)

評価点総計 (満点164点)	指定管理者	125点	76.2%	施設担当課	122点	74.4%
----------------	-------	------	-------	-------	------	-------



## 8 (総括) 評価に対する考え方 (指定管理者、施設担当課)

評価項目	評価項目No.とその評価点を付けた理由			
	No.	指定管理者	No.	施設担当課
(1) 実施体制	3	団体及び個人利用者が事業計画の107%となり、個人利用、団体利用ともに回復した。	3	感染症対策のため活動が制限される中、福祉相談が増加している。施設利用の機会を捉えた相談事業が実施されていることを評価する。
	4	避難経路を確保しているとともに定期的に避難訓練を実施し、利用者の安全を確保している。	4	施設利用者へのわかりやすい周知、表示をするなど、利用者の安全確保に引き続き務めてほしい。
	6	連絡網を整備し、緊急時の対応に備えている。	6	避難訓練と並行して有事の際に、対応できるような体制づくりに努めてほしい。
(2) 収支等の評価	17	法人の会計規則に則り、適正に管理している。	17	適正な予算執行に努めたことを確認した。
	20	複数の職員で確認し、適切に管理している。	20	引き続き、複数の職員で管理、確認し、不備等のないように努めてほしい。
	24	塩尻市新型コロナ対策事業者間取引促進事業に参加し、事業費・食材料費等の経費節減を図った。	24	定められた指定管理料の範囲内で、事業内容や施設管理について工夫し、経費削減に努めたことを確認した。
(3) サービス等の内容や水準	26	毎月定例会で身だしなみチェックを実施。利用者への接遇等について情報共有し、スキルアップに努めている。	26	日頃の対応が新規利用者増加にも繋がると思うので、継続して実施してほしい。
	28	利用者からご意見をお聞きする中で館内表示、利用方法の改善など対応している。また要望に応え、館内にWi-Fi環境を整えた。	28	年次的に計画し、Wi-Fi環境を整備するなど取り組んだ。今後はWi-Fi環境を生かした講座等の開催も検討してほしい。
	33	すみれ食堂にて就労支援事業所製品販売促進協力と売り上げ増加のため常設の販売コーナーを設けた。就労支援事業所の紹介、販売促進につながった。	33	就労支援事業所の紹介、販売促進につなげ、新たな販路を開拓したことを評価する。引き続き情報発信に努めてほしい。
	35	仕様書に従い清掃、警備、衛生の点検・管理を行い、感染症拡大予防として、定期的な換気、館内消毒を行った。	35	定期的な感染予防はもちろんのこと、講座等の利用ごとに安心して参加できるよう引き続き取り組んでほしい。
	37	必要事項について随時市担当課に報告し、速やかに修繕、予算化等対応を行っている。	37	情報共有を密に行い、計画的な施設運営に努めたことを確認した。

## 9 総合評価（指定管理者、施設担当課）

<p>指定管理者</p>	<p><b>■自己評価</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・令和2年度に続き新型コロナウイルス感染症の影響が続く中、団体・個人利用が徐々に回復してきたが、団体予約の取り直し、入浴の利用人数制限などの影響により、令和元年度と比較すると延べ利用人数は80%であった。</li> <li>・コミュニティソーシャルワーカー（CSW）が地域へ出向き個別相談件数を増やし、関係機関と連携した支援が増加した。また市民活動団体のつながり作り、活動支援を行い、地域の資源確保へ向けた取り組みを実施した。</li> <li>・Wi-Fiの設置により、個人及び団体利用者に喜んでいただけた。環境が整ったため高齢者が安全にスマートフォンを使えるようスマートフォン基礎講座を実施し、あわせてWi-Fi設置についてPRした。</li> </ul> <p><b>■今後の改善策（短期的に対応可能なもの）</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・情報発信、利用促進に向けて情報発信の回数を増やす等ホームページの活用を進める。</li> <li>・危機管理に関するマニュアル等の整備を進め、緊急時に備え、定期的に訓練を実施する。</li> </ul> <p><b>■今後の改善策（長期的に取り組むことで課題解決を図るもの）</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の福祉拠点として各地区、関係機関等と連携し、安心して暮らせる地域づくりを進める。</li> <li>・福祉避難所として災害時に対応できるよう職員の訓練、住民との協力体制作りを進める。</li> <li>・引き続き新型コロナウイルス感染拡大防止に努め、安心して利用していただけるよう取り組む。</li> </ul>
<p>施設担当課</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・相談支援、福祉・介護相談の件数が増加する中で、CSWの活動も広範囲にわたっているが、3つのふれあいセンターで協力し、地域からの要望に応えるよう積極的に活動していることは高く評価できる。</li> <li>・介護予防、認知症予防の推進として、認知症介護相談、オレンジカフェ、認知症サポーター養成講座などを開催して、様々な年代の方を巻き込みながら、地域の福祉拠点としての機能向上に努めてほしい。</li> </ul>